

7番（小川義昭君）

ただいま議題となっております平成25年度白山市一般会計歳入歳出決算を初めとする特別会計を含め、全議案について、賛成の立場で討論を行います。

我が国においては、デフレからの脱却と持続的な社会保障制度の確立が長きにわたり政策課題となってきましたが、日本銀行による大胆な金融政策の導入、社会保障と税の一体改革の関連法案の成立など、具体的な施策の取り組みが進んできたことにより、経済は着実に上向いてきております。

景気は、消費税率引き上げに伴う需要の反動により、弱い動きも見られましたが、緩やかな回復基調が続いています。今後については、駆け込み需要の反動の影響が次第に薄れ、各種政策の効果が発現する中で、堅調な内需に支えられた景気回復が見込まれ、経済の好循環が徐々に実現していくことを期待するものであります。

このような中であって、合併後9年目を迎えた本市の平成25年度当初予算は、合併以降、初めて財政調整基金を取り崩すことなく組まれた予算でありました。

その平成25年度一般会計決算においては、実質収支額が9億円余の黒字となっております。また、財政調整基金については、積極的な行財政改革の推進と事務事業の効率的な執行により、当面の目標であった20億円から、さらに上積みされている状況であります。

決算に基づく主な財政指標についても、経常収支比率、実質公債費比率及び将来負担比率においても、昨年に引き続き、いずれの数値も前年より改善していることは評価するものであります。

特に、歳出においては、固定的、継続的な経費の負担削減に努め、公共施設の維持管理費の軽減や休止施設の諸問題等に対する事務事業の見直しを進められるとともに、限られた予算の中で、朝日小学校、明光小学校の改築事業、松任中学校第二体育館の建設等、教育施設の充実により、白山市の将来を担う心豊かで感性あふれる人材の育成、地域福祉の拠点施設であり、福祉に関する総合相談窓口としての機能を持つ福祉ふれあいセンターの整備、世界ジオパークの認定を目指し、ジオパーク情報発信施設や視点場等の整備、また良好な住宅地と優良な居住環境を提供するため、新たに北安田南部地区において土地区画整理事業調査業務の着手、五歩市福増線、宮丸北安田線道路改良などのインフラ整備が行われています。

さらに、北陸新幹線白山駅の設置に向けた体制整備にも鋭意努力されています。

来年度から普通交付税の減額措置が始まることから、さらに厳しい財政運営が予想されますが、今後においても、公共施設の管理見直しを初め、徹底した

行政経費の節減、合理化を求め中、創意工夫と財政の健全化に努め、公平・公正な諸施策を推進され、市民の視点に立ったまちづくりに鋭意取り組まれることを念願いたします。

議員各位の賢明なる判断の上、賛同し、認定してくださいますようお願いを申し上げ、賛成討論といたします。